

住民アンケート

1) アンケート概要

アンケート概要を表 2-6 に、設問一覧を表 2-7 に示す。なお、使用したアンケート用紙は資料編に収録した。

アンケート調査は、令和 3 年 8 月に東郷町在住の 1,000 人を対象に実施し、そのうち 389 人から回答を得た（回収率 38.9%）。

表 2-6 アンケート概要（住民アンケート）

項目	内容
アンケート発送日	令和 3 年 8 月 17 日
アンケート回収締切	令和 3 年 9 月 10 日
対象者数	1,000 人
発送数	1,000 通
回答数	389 通
回答率	38.9%

表 2-7 設問一覧（住民アンケート）

分類	No	内容		回答方式
環境問題への関心	問 1	関心のある環境問題について		選択式(3 つまで)
	問 2	持続可能な開発目標 (SDGs) について		選択式(1 つだけ)
	問 3	地球環境や地域環境の保全のためにとるべき行動について		選択式(2 つまで)
東郷町内の環境	問 4	居住地区の環境に関する満足度について		5 段階評価 (18 項目)
	問 5	環境の変化について		6 段階評価 (3 項目)
	問 6	東郷町の環境において期待する将来の姿について		選択式(1 つだけ)
環境保全に関する行動	問 7	環境にやさしい行動について		4 段階評価 (23 項目)
	問 8	ごみの減量に係る意識について	ごみ減量に係る施策について	選択式(複数回答可)
			リサイクルの方法について	選択式(複数回答可)
リサイクル品目について			選択式(複数回答可)	
東郷町で行うべき施策等	問 9	自然保護・緑化保全のための施策について		選択式(2 つまで)
	問 10	環境・公害対策について		選択式(3 つまで)
	問 11	東郷町民への環境意識啓発の方法について		選択式(2 つまで)
	問 12	東郷町で実施している環境事業について		4 段階評価 (9 項目)
東郷町における生活様式	問 13	コロナ禍における生活様式の変化について	コロナ禍での生活様式の変化について	5 段階評価 (10 項目)
			コロナ収束後の生活スタイルの維持意向	選択式(1 つだけ)
			自由欄	自由記述
その他		性別		選択式(3 択)
		年齢		選択式(7 択)
		職業		選択式(9 択)
		東郷町在所年数		選択式(6 択)
		所在地		選択式(18 択)

2) アンケート結果

(1) 問1 関心のある環境問題について

問1のアンケート内容を図2-9に、集計結果を表2-8に示す。

問1は、関心のある環境問題を17項目から3つまで選択する問いである。

最も回答が多かったのは「地球温暖化」で74.8%であり、最も回答が少なかったのは「工場などによる悪臭」で2.1%であった。

問1. 関心のある環境問題について	
地球規模の環境問題や、地域や身近に起こる環境問題について、あなたがより関心を持っているものはどれですか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。	
1	地球温暖化
2	オゾン層の破壊
3	世界的な森林の減少
4	世界で起きている砂漠化の進行
5	大気汚染物質による酸性雨
6	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅
7	海洋および沿岸域の汚染
8	再生可能エネルギーの利用問題
9	里山の重要性和管理上の問題
10	自動車や工場などによる大気汚染
11	家庭や工場による河川などの水質汚濁
12	自動車や鉄道、工場などからの騒音、振動
13	工場などによる悪臭
14	PM2.5、ダイオキシンや環境ホルモンなどの化学物質による環境汚染
15	ごみやリサイクルの問題
16	様々な開発に伴う自然破壊、身近な自然の減少
17	学校や地域社会における環境教育の現状

図2-9 アンケート内容【問1】

表2-8 アンケート集計結果【問1】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	総回答数	有効回答数
	地球温暖化	オゾン層の破壊	世界的な森林の減少	世界で起きている砂漠化の進行	大気汚染による酸性雨	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	海洋および沿岸域の汚染	再生可能エネルギーの利用問題	里山の重要性和管理上の問題	自動車や工場などによる大気汚染	家庭や工場による河川などの水質汚濁	騒音、振動	自動車や鉄道、工場などからの悪臭	PM2.5、ダイオキシンや環境ホルモンなどの化学物質による環境汚染	ごみやリサイクルの問題	様々な開発に伴う自然破壊、身近な自然の減少	学校や地域社会における環境教育の現状		
回答数(件)	291	45	63	23	15	41	60	96	39	11	21	11	8	71	145	107	45	1092	389
回答率(%)	74.8	11.6	16.2	5.9	3.9	10.5	15.4	24.7	10.0	2.8	5.4	2.8	2.1	18.3	37.3	27.5	11.6	-	-

(2) 問2 持続可能な開発目標（SDGs）について

問2のアンケート内容を図2-10に、集計結果を図2-9に示す。

問2は、持続可能な開発目標（SDGs）に対する認識・取り組みについて、5項目から1つ選択する問いである。

最も回答が多かったのは「言葉を知っていて、意味・重要性を理解できるが、取り組んでいない」で29.3%であり、最も回答が少なかったのは「意味・重要性を理解し、取り組んでいる」で10.3%であった。

問2. 持続可能な開発目標（SDGs）について	
あなたは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」について、どの程度ご存知ですか。次の中から、あてはまるものを <u>1つだけ</u> 選んで番号に○印をつけてください。	
1	意味・重要性を理解し、取り組んでいる
2	意味・重要性を理解し、取り組みたいと思っている
3	言葉を知っていて、意味・重要性を理解できるが、取り組んでいない
4	言葉は知っているが、意味・重要性を理解できない
5	言葉も知らない

図2-10 アンケート内容【問2】

表2-9 集計結果【問2】

設問	1	2	3	4	5	総回答数	有効回答数
	ん理意 で解味 いし・ る、重 取要 り性 組を	いみ理意 るた解味 いし・ と、重 思取要 つり性 て組を	いが性て言 な、を、葉 い取理意を り解味知 組で・つ んき重て でる要い	な要る言 い性が葉 を、は 理意知 解味つ で・て き重い	言葉も 知らない		
回答数(件)	40	104	114	62	60	380	389
回答率(%)	10.3	26.7	29.3	15.9	15.4	-	-

(3) 問3 地球環境や地域環境の保全のためにとるべき行動について

問3のアンケート内容を図2-11に、集計結果を表2-10に示す。

問3は、地球環境や地域環境の保全のために個人、事業者、行政がどのような行動をとるべきかについて9項目から2つまでを選択する問いである。

「わからない」及び「その他」を除き、最も回答が多かったのは「町と住民が協力して環境保全を行うべき」で50.6%であり、最も回答が少なかったのは「環境問題が深刻化しているとは考えづらく特に行動すべきことはない」で3.1%であった。

問3. 地球環境や地域環境の保全のためにとるべき行動について	
地球環境や地域環境の保全のため、あなたや、事業者、行政はどのように行動すべきだと思いますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。	
1	町と住民が協力して環境保全行動を行うべき
2	子供たちへの環境教育を行うべき
3	町の事業として、環境保全行動を行うべき
4	住民一人ひとりの生活の影響が大きいため、生活様式の変更が必要である
5	町として条例や規制を制定し、環境保全対策に着手すべき
6	企業活動の影響が大きいため、産業構造を見直す必要がある
7	環境問題が深刻化しているとは考えづらく特に行動すべき事はない
8	わからない
9	その他（具体的に： _____）

図2-11 アンケート内容【問3】

表2-10 集計結果【問3】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	総回答数	有効回答数
	町と住民が協力して環境保全を行うべき	子供たちへの環境教育を行うべき	町の事業として、環境保全行動を行うべき	住民一人ひとりの生活の影響が大きいため、生活様式の変更が必要である	町として条例や規制を制定し、環境保全対策に着手すべき	企業活動の影響が大きいため、産業構造を見直す必要がある	環境問題が深刻化しているとは考えづらく特に行動すべき事はない	わからない	その他		
回答数(件)	197	122	106	72	120	58	12	18	16	721	389
回答率(%)	50.6	31.4	27.2	18.5	30.8	14.9	3.1	4.6	4.1	-	-

(4) 問 4 居住地区の環境に関する満足度について

問 4 のアンケート内容を図 2-12 に、集計結果を表 2-11 に示す。

問 4 は、居住地区の環境に関する満足度について、18 項目を対象に 5 段階（A:満足、B:まあ満足、C:どちらともいえない、D:やや不満、E:不満）で評価する問いである。

最も「満足」の回答が多かったのは「日当たりのよさ」で 31.7%であり、最も「不満」の回答が多かったのは「公園などの憩いの場」で 9.1%であった。

問 4. 居住地区の環境に関する満足度について						
あなたが住んでいる地区の環境について、現在どの程度満足されていますか。次の設問ごとに、あなたのお考えに最も近いものを <u>1つずつ</u> 選んでアルファベットに○印をつけてください。						
質問項目	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
1	A	B	C	D	E	
2	A	B	C	D	E	
3	A	B	C	D	E	
4	A	B	C	D	E	
5	A	B	C	D	E	
6	A	B	C	D	E	
7	A	B	C	D	E	
8	A	B	C	D	E	
9	A	B	C	D	E	
10	A	B	C	D	E	
11	A	B	C	D	E	
12	A	B	C	D	E	
13	A	B	C	D	E	
14	A	B	C	D	E	
15	A	B	C	D	E	
16	A	B	C	D	E	
17	A	B	C	D	E	
18	A	B	C	D	E	

図 2-12 アンケート内容【問 4】

表 2-11 集計結果【問 4】

番号	項目	A 満足	B まあ満足	C どちらとも いえない	D やや不満	E 不満
回答数 (件)	1 森林としての緑	40	148	118	49	19
	2 公園や街路樹などの緑	37	164	85	68	22
	3 動物や植物の多さ	25	91	189	50	17
	4 水辺の景観	14	87	165	84	27
	5 川や池のきれいさ	7	65	165	107	26
	6 空気のさわやかさ	36	181	117	35	9
	7 静けさ	69	180	67	42	20
	8 日当たりのよさ	120	199	39	14	6
	9 憩いの場としての水辺	15	75	172	86	27
	10 街並みのゆとりや美しさ	13	94	155	88	25
	11 公園などの憩いの場	21	108	128	84	34
	12 自然を生かした河川整備	9	69	183	82	33
	13 リサイクルを含むごみ処理対策	30	157	109	61	22
	14 環境・公害対策	11	87	218	52	11
	15 し尿処理等の衛生対策	46	132	154	37	9
	16 省エネルギー対策	7	52	256	55	7
	17 子供への環境教育	10	83	221	45	16
	18 環境に関する情報の提供	5	52	215	79	26
回答率 (%)	1 森林としての緑	10.7	39.6	31.6	13.1	5.1
	2 公園や街路樹などの緑	9.8	43.6	22.6	18.1	5.9
	3 動物や植物の多さ	6.7	24.5	50.8	13.4	4.6
	4 水辺の景観	3.7	23.1	43.8	22.3	7.2
	5 川や池のきれいさ	1.9	17.6	44.6	28.9	7.0
	6 空気のさわやかさ	9.5	47.9	31.0	9.3	2.4
	7 静けさ	18.3	47.6	17.7	11.1	5.3
	8 日当たりのよさ	31.7	52.6	10.3	3.7	1.6
	9 憩いの場としての水辺	4.0	20.0	45.9	22.9	7.2
	10 街並みのゆとりや美しさ	3.5	25.1	41.3	23.5	6.7
	11 公園などの憩いの場	5.6	28.8	34.1	22.4	9.1
	12 自然を生かした河川整備	2.4	18.4	48.7	21.8	8.8
	13 リサイクルを含むごみ処理対策	7.9	41.4	28.8	16.1	5.8
	14 環境・公害対策	2.9	23.0	57.5	13.7	2.9
	15 し尿処理等の衛生対策	12.2	34.9	40.7	9.8	2.4
	16 省エネルギー対策	1.9	13.8	67.9	14.6	1.9
	17 子供への環境教育	2.7	22.1	58.9	12.0	4.3
	18 環境に関する情報の提供	1.3	13.8	57.0	21.0	6.9

(5) 問5 環境の変化について

問5のアンケート内容を図2-13に、集計結果を表2-12に示す。

問5は、東郷町の環境が以前（10年前又は転居後10年未満の場合は転居時）と比べ良くなったか、悪くなったかについて、3項目を対象に6段階（良くなった、どちらかと言えば良くなった、以前と変わらない、どちらかと言えば悪くなった、悪くなった、不満）で評価する問いである。

「良くなった」の回答は、「公園やまち中のみどりなどの都市環境」3%、「森や川などの自然環境」2%、「空気や水などの生活環境」2%、で同程度であり、「悪くなった」の回答が多かったのは、「森や川などの自然環境」が10%であった。

問5. 環境の変化について							
あなたは、東郷町の環境について、以前（10年前、転居後10年未満の方は転居時）と比べて良くなったと思いますか。それとも悪くなったと思いますか。次の設問ごとに、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んでアルファベットに○印をつけてください。							
質問項目	良くなった	どちらかと言えば良くなった	以前と変わらない	どちらかと言えば悪くなった	悪くなった	わからない	
1 森や川などの自然環境	A	B	C	D	E	D	
2 空気や水などの生活環境	A	B	C	D	E	D	
3 公園やまち中のみどりなどの都市環境	A	B	C	D	E	D	

図 2-13 アンケート内容【問5】

表 2-12 集計結果【問5】

番号	設問	A	B	C	D	E	F	計
		良くなった	どちらか 良くな ったか と言え ば	以前と 変わら ない	悪くな ったか と言え ば	悪くな った	わか らな い	
回答数 (件)	1 森や川などの自然環境	7	36	200	80	37	21	360
	2 空気や水などの生活環境	8	35	249	52	20	17	364
	3 公園やまち中のみどりなどの都市環境	9	36	204	80	27	15	356
回答数 (%)	1 森や川などの自然環境	2	10	56	22	10	6	100
	2 空気や水などの生活環境	2	10	68	14	5	5	100
	3 公園やまち中のみどりなどの都市環境	3	10	57	22	8	4	100

(6) 問 6 東郷町の環境において期待する将来の姿について

問 6 のアンケート内容を図 2-14 に、集計結果を 2-13 に示す。

問 6 は、東郷町の環境に対して将来どのような姿にあることを期待するかについて、5 項目から 1 つ選択する問いである。

「その他」及び「わからない」を除き、最も回答が多かったのは、「自然を一部残しつつ、居住地と緑が融合した自然と共生するまち」で 62.7% であり、最も回答が少なかったのは「住宅地や商業地が町の大部分を占める都市型のまち」で 4.6% であった。

問 6. 東郷町の環境において期待する将来の姿について	
東郷町の環境について、将来どのような姿にあることを期待しますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。	
1	森や林、農地などを多く残す緑と自然にあふれるまち
2	自然を一部残しつつ、居住地と緑が融合した自然と共生するまち
3	住宅地や商業地が町の大部分を占める都市型のまち
4	その他（具体的に： ）
5	わからない

図 2-14 アンケート内容【問 6】

表 2-13 集計結果【問 6】

設問		1	2	3	4	5	総回答数	有効回答数
		森や林、農地などを多く残す緑と自然にあふれるまち	自然を一部残しつつ、居住地と緑が融合した自然と共生するまち	住宅地や商業地が町の大部分を占める都市型のまち	その他	わからない		
回答数(件)	全体	100	244	18	10	8	380	389
回答率(%)	全体	25.7	62.7	4.6	2.6	2.1	-	-

(7) 問7 環境にやさしい行動について

問7のアンケート内容を図2-15に、集計結果を表2-14に示す。

問7は、よりよい環境づくりの対して行っていることについて、23項目を対象に4段階（いつも実行している、時々実行している、今後実行したい、今後とも実行するつもりはない）で評価する問いである。

「いつも実行している」の回答が最も多かったのは、「買い物の時にはエコバックを持参している」で91.1%であり、「今後ともするつもりはない」の回答が最も多かったのは「講演会、講習会などの環境学習に参加している」で35.3%であった。

問7. 環境にやさしい行動について					
環境づくりは、住民の皆様の協力なしでは行うことができません。あなたは、よりよい環境づくりに対して普段どのようなことを行っていますか。次の設問ごとに、あてはまるものを <u>1つずつ</u> 選んでアルファベットに○印をつけてください。					
質問項目	いつも実行している	時々実行している	今後実行したい	今後とも実行するつもりはない	
1	unnecessary電気を消したり、緑のカーテン*を設置したり、冷暖房の温度を控えめにするなど、エネルギーの節約に心がけている	A	B	C	D
2.	省エネルギー型の家庭電化製品や自動車を選択して購入している	A	B	C	D
3	外出の際には、なるべく自家用車を使わず、バスなどの公共交通機関、徒歩、自転車などを利用している	A	B	C	D
4	エコドライブを意識している	A	B	C	D
5	食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている	A	B	C	D
6	洗剤の量や成分に気を配っている	A	B	C	D
7	食品ロスを意識して、作りすぎない、食べ残さないようにしている	A	B	C	D
8	買い物の時にはエコバッグを持参している	A	B	C	D
9	使い捨て製品はなるべく買わないようにしている	A	B	C	D
10	再生紙などのリサイクル商品を購入している	A	B	C	D
11	日常生活で節水に気をつけている	A	B	C	D
12	雨水、風呂の残り水の積極的な再利用を行っている	A	B	C	D
13	物は大切に、修理して長く使うようにしたり、必要な物だけを買うようにしている	A	B	C	D
14	町や各種団体等の資源回収に協力している	A	B	C	D
15	コンポスト容器などによる生ごみの堆肥化、減量化を行っている	A	B	C	D
16	リサイクルマーケットや、リサイクルショップを利用している	A	B	C	D
17	観光・余暇活動の際には、ごみを持ち帰る、動植物を採取しないなど、なるべく自然を傷つけないように気をつけている	A	B	C	D
18	家の庭やベランダの緑を増やすようにしている	A	B	C	D
19	テレビやピアノなどの音を外に出さないようにしている	A	B	C	D
20	自治会の清掃活動に参加している	A	B	C	D
21	講演会、講習会などの環境学習に参加している	A	B	C	D
22	環境問題や対策について家族で話し合っている	A	B	C	D
23	その他（具体的に： ）	A	B	C	D

※緑のカーテン：ツル植物などで窓などを覆う、遮光のための簡易な遮蔽物

図2-15 アンケート内容【問7】

表 2-14 集計結果【問 7】

番号	設問	A	B	C	D	計
		いつも実行している	時々実行している	今後実行したい	す今後とも するつもりはない	
回答数 (件)	1 unnecessary electricity consumption, green curtains, temperature control	179	162	32	10	383
	2 energy-saving household appliances, car purchase	126	135	102	17	380
	3 public transport, walking, bicycle	37	87	134	120	378
	4 eco-driving	157	133	68	15	373
	5 water saving, no pouring	284	73	20	5	382
	6 detergent quantity/composition	168	130	67	14	379
	7 food waste awareness, no overcooking	258	97	24	3	382
	8 eco-bags	347	23	6	5	381
	9 no unnecessary purchases	107	186	63	21	377
	10 recycled products	98	191	74	15	378
	11 water saving in daily life	184	159	31	3	377
	12 rainwater, greywater reuse	107	83	119	72	381
	13 maintenance, buy only what's needed	187	147	44	2	380
	14 resource recycling cooperation	259	92	24	5	380
	15 compost, reduction	47	48	168	115	378
	16 recycling market/shop	44	141	112	82	379
	17 nature protection, no pet plants	285	68	21	5	379
	18 greenery in garden/terrace	156	98	80	47	381
	19 TV/piano sound control	212	120	35	12	379
	20 cleaning activities	150	75	108	42	375
	21 environmental learning	9	45	190	133	377
	22 family discussion	30	68	21	5	124
	23 other	13	9	7	18	47
回答率 (%)	1 unnecessary electricity consumption, green curtains, temperature control	46.7	42.3	8.4	2.6	100.0
	2 energy-saving household appliances, car purchase	33.2	35.5	26.8	4.5	100.0
	3 public transport, walking, bicycle	9.8	23.0	35.4	31.7	100.0
	4 eco-driving	42.1	35.7	18.2	4.0	100.0
	5 water saving, no pouring	74.3	19.1	5.2	1.3	100.0
	6 detergent quantity/composition	44.3	34.3	17.7	3.7	100.0
	7 food waste awareness, no overcooking	67.5	25.4	6.3	0.8	100.0
	8 eco-bags	91.1	6.0	1.6	1.3	100.0
	9 no unnecessary purchases	28.4	49.3	16.7	5.6	100.0
	10 recycled products	25.9	50.5	19.6	4.0	100.0
	11 water saving in daily life	48.8	42.2	8.2	0.8	100.0
	12 rainwater, greywater reuse	28.1	21.8	31.2	18.9	100.0
	13 maintenance, buy only what's needed	49.2	38.7	11.6	0.5	100.0
	14 resource recycling cooperation	68.2	24.2	6.3	1.3	100.0
	15 compost, reduction	12.4	12.7	44.4	30.4	100.0
	16 recycling market/shop	11.6	37.2	29.6	21.6	100.0
	17 nature protection, no pet plants	75.2	17.9	5.5	1.3	100.0
	18 greenery in garden/terrace	40.9	25.7	21.0	12.3	100.0
	19 TV/piano sound control	55.9	31.7	9.2	3.2	100.0
	20 cleaning activities	40.0	20.0	28.8	11.2	100.0
	21 environmental learning	2.4	11.9	50.4	35.3	100.0
	22 family discussion	24.2	54.8	16.9	4.0	100.0
	23 other	27.7	19.1	14.9	38.3	100.0

(8) 問 8 ごみの減量に係る意識について

a) 問 8-1 ごみ減量に係る施策について

問 8-1 のアンケート内容を図 2-16 に、集計結果を表 2-15 に示す。

問 8-1 は、ごみを減らすために東郷町が実施すべきだと思う効果的な施策について、9 項目から 1 つ選択する問いである。

「その他」を除き、最も回答が多かったのは「資源回収の拠点を増やす」で 54.8%であり、最も回答が少なかったのは「ごみ処理の有料化」で 10.5%であった。

●ごみ減量に係る施策について

あなたは、ごみを減らすために東郷町が実施すべきだと思う効果的な施策は何だと思いますか。次の中から、あなたのお考えに近いものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

1	ごみ減量講座を実施
2	リサイクルに取り組むよう広報を強化
3	ごみ処理の有料化
4	紙類の回収機会を増やす
5	プラスチック類の回収機会を増やす
6	資源回収の拠点を増やす
7	水切り袋の配布
8	フードドライブ*の実施
9	その他（具体的に： _____）

※フードドライブ：家庭で余った食材を持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄付する活動

図 2-16 アンケート内容【問 8-1】

表 2-15 集計結果【問 8-1】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	総回答数	有効回答数
	ごみ減量講座を実施	リサイクルの取組を強化	ごみ処理の有料化	紙類の回収機会を増やす	プラスチック類の回収機会を増やす	資源回収の拠点を増やす	水切り袋の配布	フードドライブの実施	その他		
回答数(件)	全体 55	161	41	137	184	213	72	89	18	970	389
回答率(%)	全体 14.1	41.4	10.5	35.2	47.3	54.8	18.5	22.9	4.6	-	-

b) 問 8-2 リサイクルの方法について

問 8-2 のアンケート内容を図 2-17 に、集計結果を表 に示す。

問 8-2 は、利用しているリサイクル方法について、7 項目から複数選択する問いである。

最も回答が多かったのは「町資源回収ステーション」で 75.8%であり、最も回答が少なかったのは「利用していない」で 1.5%であった。

●リサイクルの方法について
あなたが利用しているリサイクル方法はどれですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

1	月 1 回の地区資源回収
2	町資源回収ステーション
3	民間のリサイクルステーション
4	子ども会・自治会が実施している廃品回収
5	スーパーなどにある資源回収ボックス
6	その他（具体的に： _____ ）
7	利用していない

図 2-17 アンケート内容【問 8-2】

表 2-16 集計結果【問 8-2】

設問		1	2	3	4	5	6	7	総 回 答 数	有 効 回 答 数
		月 1 回の地区資源回収	町資源回収ステーション	民間のリサイクルステーション	子ども会・自治会が実施している廃品回収	スーパーなどにある資源回収ボックス	その他	利用していない		
回答数(件)	全体	135	295	83	182	192	10	6	903	389
回答率(%)	全体	34.7	75.8	21.3	46.8	49.4	2.6	1.5	-	-

c) 問 8-3 リサイクル品目について

問 8-3 のアンケート内容を図 2-18 に、集計結果を表 2-17 に示す。

問 8-3 は、リサイクル品目について、9 項目から複数選択する問いである。

「その他」及び「特にリサイクルをしていない」を除き、最も回答が多かったのは「ペットボトル」で 83.3% であり、最も回答が少なかったのは「小型家電」で 49.9% であった。

●リサイクル品目について

あなたがリサイクルしているものはどれですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。(町指定袋に入れて金属類、陶磁器ガラス類として出すものは含めません。)

1	紙類
2	缶(アルミ・スチール)
3	びん
4	ペットボトル
5	プラスチック製容器包装(白色トレイを含む)
6	古着・古布
7	小型家電
8	その他(具体的に:)
9	特にリサイクルをしていない

図 2-18 アンケート内容【問 8-3】

表 2-17 集計結果【問 8-3】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	総回答数	有効回答数
	紙類	缶(アルミ・スチール)	びん	ペットボトル	プラスチック製容器包装(白色トレイを含む)	古着・古布	小型家電	その他	特にリサイクルをしていない		
回答数(件)	全体 301	321	280	324	213	210	194	21	2	1866	389
回答率(%)	全体 77.4	82.5	72.0	83.3	54.8	54.0	49.9	5.4	0.5	-	-

(9) 問9 自然保護・緑化保全のための施策について

問9のアンケート内容を図2-19に、集計結果を表2-18に示す。

問9は、自然保護・緑化保全のために、東郷町が今後力をいれていくべきだと思うことについて、12項目から2つまで選択する問いである。

「その他」を除き、最も回答が多かったのは「道路や公共施設などの緑化」で31.1%であり、最も回答が少なかったのは「住宅や事業所などの個人の施設の緑化」で5.1%であった。

問9. 自然保護・緑化保全のための施策について	
自然保護・緑化保全のために、町が今後特に力を入れていくべきだと思うものは何ですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。	
1	河川の水質浄化
2	公園の設置、緑化
3	道路や公共施設などの緑化
4	動物や植物の生息・生育場所の保護
5	森の保全
6	河川やため池の人工的改変の防止
7	農地の保全
8	希少な動物や植物の保護
9	神社やお寺周辺の森の保全
10	住宅や事業所などの個人の施設の緑化
11	再生可能エネルギーの利用促進
12	その他（具体的に： ）

図2-19 アンケート内容【問9】

表2-18 集計結果【問9】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総回答数	有効回答数
	河川の水質浄化	公園の設置、緑化	道路や公共施設などの緑化	動物や植物の生息・生育場所の保護	森の保全	河川やため池の人工的改変の防止	農地の保全	希少な動物や植物の保護	神社やお寺周辺の森の保全	住宅や事業所などの個人の施設の緑化	再生可能エネルギーの利用促進	その他		
回答数(件)	91	118	121	67	64	24	40	26	46	20	95	8	720	389
回答率(%)	23.4	30.3	31.1	17.2	16.5	6.2	10.3	6.7	11.8	5.1	24.4	2.1	-	-

(10) 問 10 環境・公害対策について

問 10 のアンケート内容を図 2-20 に、集計結果を表 2-19 に示す。

問 10 は、環境・公害対策のうち、東郷町が今後特に力をいれていくべきだと思う対策等について、15 項目から 3 つまで選択する問いである。

「その他」を除き、最も回答が多かったのは「リサイクルを含むごみの減量」で 65.6% であり、最も回答が少なかったのは「その他からの悪臭」で 1.8% であった。

問 10. 環境・公害対策について			
環境・公害対策のうち、町が今後特に力をいれていくべきと思われる対策等は何ですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを <u>3つまで</u> 選んで番号に○印をつけてください。			
1	リサイクルを含むごみの減量	9	ピアノやテレビなどの近隣騒音
2	化学物質による環境汚染	10	自動車（道路）による騒音
3	下水道などの衛生施設の整備	11	工場からの騒音
4	野焼きによる大気への影響	12	工事による騒音
5	自動車（道路）による大気汚染	13	工場からの悪臭
6	工場による大気汚染	14	その他からの悪臭
7	家庭からの排水による水質汚濁	15	その他 (具体的に：)
8	工場からの排水による水質汚濁		

図 2-20 アンケート内容【問 10】

表 2-19 集計結果【問 10】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	総 回 答 数	有 効 回 答 数	
	減 量	リ サ イ ク ル を 含 む ご み の	化 学 物 質 に よ る 環 境 汚 染	整 備 下 道 な ど の 衛 生 施 設 の	響 野 焼 き に よ る 大 気 へ の 影 響	気 汚 染 自 動 車 (道 路) に よ る 大 気 汚 染	工 場 に よ る 大 気 汚 染	質 汚 濁 家 庭 か ら の 排 水 に よ る 水 質 汚 濁	質 汚 濁 工 場 か ら の 排 水 に よ る 水 質 汚 濁	隣 騒 音 ピ ア ノ や テ レ ビ な ど の 近 隣 騒 音	音 自 動 車 (道 路) に よ る 騒 音	工 場 か ら の 騒 音	工 事 に よ る 騒 音	工 場 か ら の 悪 臭	そ の 他 か ら の 悪 臭			そ の 他
回答数(件)	全体	255	115	171	66	57	44	84	47	9	62	14	14	9	7	8	962	389
回答率(%)	全体	65.6	29.6	44.0	17.0	14.7	11.3	21.6	12.1	2.3	15.9	3.6	3.6	2.3	1.8	2.1	-	-

(11) 問 11 東郷町民への環境意識啓発の方法について

問 11 のアンケート内容を図 2-21 に、集計結果を表 2-20 に示す。

問 11 は、住民の環境意識を高め、環境活動の実行を促すために必要だと思われることについて、8 項目から 2 つまで選択する問いである。

「その他」を除き、最も回答が多かったのは「ホームページや広報紙等での情報提供」で 51.9% であり、最も回答が少なかったのは「環境に関して学習できる講座の開催」で 6.2% であった。

問 11. 東郷町民への環境意識啓発の方法について	
東郷町の住民の方の環境意識を高め、環境活動の実行を促すためには、何が必要だと思われますか。次の中から、2 つまで選んで番号に○印をつけてください。	
1	ホームページや広報紙等での情報提供
2	環境に関して学習できる講座の開催
3	環境活動の取組についての相談体制の充実
4	気軽に参加できる環境イベント等の実施
5	環境活動の成果が目に見えてわかる指標づくり
6	動画投稿サイト（YouTube等）などのSNSを利用した環境情報の発信
7	環境活動に取り組む市民や団体の情報交換の場づくり
8	その他（具体的に： _____ ）

図 2-21 アンケート内容【問 11】

表 2-20 集計結果【問 11】

設問		1	2	3	4	5	6	7	8	総回答数	有効回答数
		ホームページや広報紙等での情報提供	の環境に関して学習できる講座の開催	環境活動の取組についての相談体制の充実	ト気軽の実施に参加できる環境イベント	わ環境活動の成果が目に見えて	利 T 動画投稿サイト（YouTube等）などのSNSを利用した環境情報の発信	体環境活動の取組の場づくり	その他		
回答数(件)	全体	202	24	29	137	157	82	35	7	673	389
回答率(%)	全体	51.9	6.2	7.5	35.2	40.4	21.1	9.0	1.8	-	-

(12) 問 12 東郷町で実施している環境事業について

問 12 のアンケート内容を図 2-22 に、集計結果を表 2-21 に示す。

問 12 は、現在東郷町で実施している 9 事業に関する認知度及び利用状況について、4 段階（知っている利用したことがある、知っているが利用したことはない、知らなかったが今後利用してみたい、知らないし利用するつもりもない）で評価する問いである。

「知っている、利用したことがある」の回答が最も多かった事業は、「資源回収ステーション（北部と中部にある資源の回収所）」で 82.5% であった。「知らないし、利用するつもりもない」の回答が最も多かった事業は、「グリーンサポートとうごう（ごみ拾いボランティア支援）」で 28.0% であった。

問 12. 東郷町で実施している環境事業について					
<p>下表にある環境推進事業は、現在東郷町で実施している事業です。この内、あなたがご存じの事業はどれですか。次の設問ごとにあてはまるものを<u>1つずつ</u>選んでアルファベットに○印をつけてください。</p>					
質問項目	知っている、 利用したこ とがある	知っている が、利用し たことは ない	知らなかつ たが、今 後利用し てみたい	知らないし、 利用するつ もりも ない	
1	緑のカーテン事業 （ゴーヤの苗の無料配布）	A	B	C	D
2.	地球温暖化設備導入促進費補助金 （蓄電池、燃料電池などの導入に係 る補助金）	A	B	C	D
3	水切りネットの無料配布	A	B	C	D
4	フードドライブ事業 （食べきれない食品の寄付）	A	B	C	D
5	生ごみ処理機購入費補助	A	B	C	D
6	クリーンサポートとうごう （ごみ拾いボランティア支援）	A	B	C	D
7	資源回収ステーション （北部と中部にある資源の回収所）	A	B	C	D
8	地区資源回収 （各自治会等で実施している資源 回収）	A	B	C	D
9	エコチャレンジ10 （家庭での環境配慮行動を支援）	A	B	C	D

図 2-22 アンケート内容【問 12】

表 2-21 集計結果【問 12】

番号	設問	A	B	C	D	計
		こ 知 つ が あ る 、 利 用 し た	利 知 つ て は い る が 、 利 用 し て は い な い	今 知 ら な か つ た が 、 後 利 用 し て み た い	つ 知 ら な い し 、 利 用 す る	
回答数 (件)	1 緑のカーテン事業	24	115	156	80	375
	2 地球温暖化設備導入促進費補助金 (蓄電池、燃料電池などの導入に係る補助金)	11	77	207	77	372
	3 水切りネットの無料配布	5	33	283	55	376
	4 フードドライブ事業 (食べきれない食品の寄付)	2	52	236	84	374
	5 生ごみ処理機購入費補助	23	120	147	84	374
	6 グリーンサポートとうごう (ごみ拾いボランティア支援)	6	74	188	104	372
	7 資源回収ステーション (北部と中部にある資源の回収所)	312	36	22	8	378
	8 地区資源回収 (各自治会等で実施している資源回収)	244	81	36	16	377
	9 エコチャレンジ10 (家庭での環境配慮行動を支援)	12	77	209	75	373
回答率 (%)	1 緑のカーテン事業	6.4	30.7	41.6	21.3	100.0
	2 地球温暖化設備導入促進費補助金 (蓄電池、燃料電池などの導入に係る補助金)	3.0	20.7	55.6	20.7	100.0
	3 水切りネットの無料配布	1.3	8.8	75.3	14.6	100.0
	4 フードドライブ事業 (食べきれない食品の寄付)	0.5	13.9	63.1	22.5	100.0
	5 生ごみ処理機購入費補助	6.1	32.1	39.3	22.5	100.0
	6 グリーンサポートとうごう (ごみ拾いボランティア支援)	1.6	19.9	50.5	28.0	100.0
	7 資源回収ステーション (北部と中部にある資源の回収所)	82.5	9.5	5.8	2.1	100.0
	8 地区資源回収 (各自治会等で実施している資源回収)	64.7	21.5	9.5	4.2	100.0
	9 エコチャレンジ10 (家庭での環境配慮行動を支援)	3.2	20.6	56.0	20.1	100.0

(13) 問 13 コロナ禍における生活様式の変化について

a) 問 13-1 コロナ禍での生活様式の変化について

問 13-1 のアンケート内容を図 2-23 に、集計結果を表 2-22 に示す。

問 13-1 は、コロナ禍での生活様式の変化について、10 項目を対象に 5 段階（あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない、どちらもいえない）で評価する問いである。

「あてはまる」の回答が最も多かったのは、「飲食店に出かける頻度が減った」で 56.7% であった。「あてはまらない」の回答が最も多かったのは、「在宅勤務をするようになった」で 67.4% であった。

質問項目		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	どちらもいえない
1	在宅勤務をするようになった	A	B	C	D	E
2	飲食店に出かける頻度が減った	A	B	C	D	E
3	飲食店などのテイクアウトの頻度が増えた	A	B	C	D	E
4	店舗に買い物に行く頻度が減った	A	B	C	D	E
5	宅配サービスを使用する頻度が増えた	A	B	C	D	E
6	公共交通機関を使用する頻度が減った	A	B	C	D	E
7	近所の公園等に出かける機会が増えた	A	B	C	D	E
8	近郊の都市部に出かける機会が減った	A	B	C	D	E
9	家庭でのごみの発生量が増えた	A	B	C	D	E
10	家庭での電気ガスの使用量が増えた	A	B	C	D	E

図 2-23 アンケート内容【問 13-1】

表 2-22 集計結果【問 13-1】

番号	項目	A	B	C	D	E	計
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	どちらもいえない	
回答数 (件)	1 在宅勤務をするようになった	39	41	26	240	10	356
	2 飲食店に出かける頻度が減った	208	97	28	29	5	367
	3 飲食店などのテイクアウトの頻度が増えた	81	99	75	101	11	367
	4 店舗に買い物に行く頻度が減った	102	145	66	46	8	367
	5 宅配サービスを使用する頻度が増えた	44	41	92	179	13	369
	6 公共交通機関を使用する頻度が減った	111	54	59	127	17	368
	7 近所の公園に出かける機会が増えた	33	42	97	175	20	367
	8 近郊の都市部に出かける機会が減った	175	92	36	56	8	367
	9 家庭でのごみの発生量が増えた	76	99	102	72	21	370
	10 家庭での電気ガスの使用量が増えた	115	107	77	52	19	370
回答率 (%)	1 在宅勤務をするようになった	11.0	11.5	7.3	67.4	2.8	100
	2 飲食店に出かける頻度が減った	56.7	26.4	7.6	7.9	1.4	100
	3 飲食店などのテイクアウトの頻度が増えた	22.1	27.0	20.4	27.5	3.0	100
	4 店舗に買い物に行く頻度が減った	27.8	39.5	18.0	12.5	2.2	100
	5 宅配サービスを使用する頻度が増えた	11.9	11.1	24.9	48.5	3.5	100
	6 公共交通機関を使用する頻度が減った	30.2	14.7	16.0	34.5	4.6	100
	7 近所の公園に出かける機会が増えた	9.0	11.4	26.4	47.7	5.4	100
	8 近郊の都市部に出かける機会が減った	47.7	25.1	9.8	15.3	2.2	100
	9 家庭でのごみの発生量が増えた	20.5	26.8	27.6	19.5	5.7	100
	10 家庭での電気ガスの使用量が増えた	31.1	28.9	20.8	14.1	5.1	100

b) 問 13-2 コロナ収束後の生活スタイルの維持意向

問 13-2 のアンケート内容を図 2-24 に、集計結果を表 2-23 に示す。

問 13-2 は、コロナ収束後において、コロナ禍における生活スタイルを維持したいかどうかについて、3 段階（維持したい、一部維持したい、維持したくない）で評価する問いである。

最も回答が多かったのは「一部維持したい」で 62.2%であった。最も少なかった回答は「維持したくない」で 11.6%であった。

●コロナ収束後の生活スタイルの維持意向	
1	維持したい
2	一部維持したい
3	維持したくない

図 2-24 アンケート内容【問 13-2】

表 2-23 集計結果【問 13-2】

	項目	1	2	3	総回答数	有効回答数
		維持したい	一部維持したい	維持したくない		
回答数(件)	全体	87	242	45	374	389
回答率(%)	全体	22.4	62.2	11.6	-	-

c) 自由記述

(14) その他

その他アンケート内容を図 2-25 に、集計結果を a) ～e) に示す。

回答者の性別、年齢、職業、東郷町在所年数及び所在地を選択する問いである。

あなたは、次のいずれに該当しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

性別 (自認する性でお答え ください)	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
年齢	1. 20歳未満 4. 40～49歳 7. 70歳以上	2. 20～29歳 5. 50～59歳	3. 30～39歳 6. 60～69歳
職業	1. 農業 4. 公務員 7. 専業主婦	2. 自営業 5. パート・アルバイト 8. 無職	3. 会社員 6. 学生 9. その他
東郷町 在所年数	1. 3年未満 4. 10年～19年	2. 3年～5年 5. 20年～29年	3. 6年～9年 6. 30年以上
所在地	あなたのお住まいの地区名に○をつけてください。 1. 諸輪 2. 和合 3. 傍示本 4. 祐福寺 5. 部田 6. 白土 7. 和合ヶ丘 8. 諸輪住宅 9. 白鳥 10. 御岳 11. 春木台 12. 北山台 13. 押草団地北 14. 押草団地南 15. 西白土 16. 清水 17. 兵庫 18. 三ツ池		

図 2-25 アンケート内容【その他】

a) 性別

アンケート回答者の性別割合を表 2-24 及び図 2-26 に示す。

回答者の割合は、男性が 38.3%、女性が 55.3%であった。

表 2-24 アンケート回答者の性別割合

項目&単位	男性	女性	無回答	総回答数	有効回答数
回答数(件)	149	215	25	389	364
回答率(%)	38.3	55.3	6.4	100	

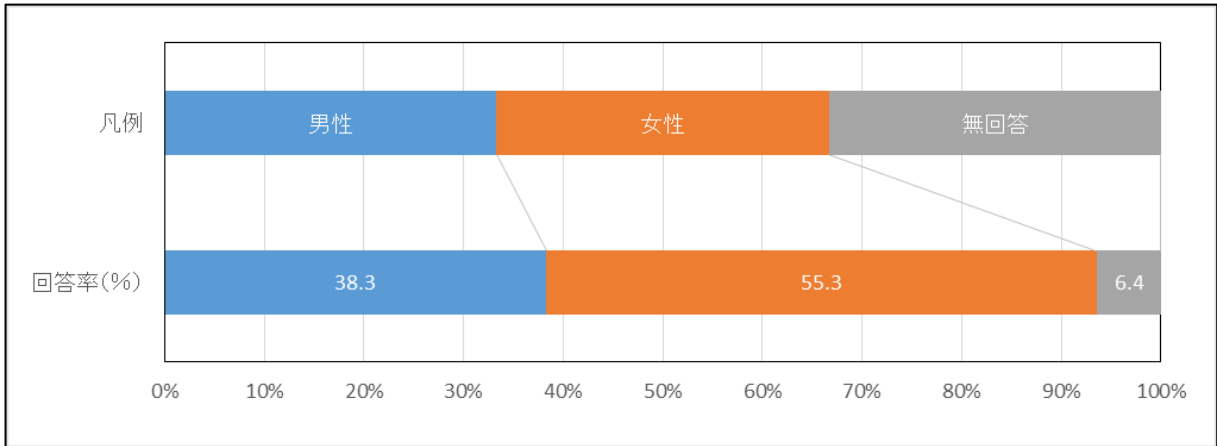


図 2-26 アンケート回答者の性別割合

b) 年齢

年齢別割合を、表 2-25 及び図 2-27 に示す。

年齢別の回答者の割合は、70～79 歳が 26.5%で最も多く、次いで 40～49 歳が 17.0%で多かった。また、20 歳未満が 1.3%で最も少なかった。

表 2-25 アンケート回答者の年齢別割合

項目&単位	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	無回答	総回答数	有効回答数
回答数(件)	5	31	52	66	59	58	103	15	389	374
割合	1.3	8.0	13.4	17.0	15.2	14.9	26.5	3.9	100	

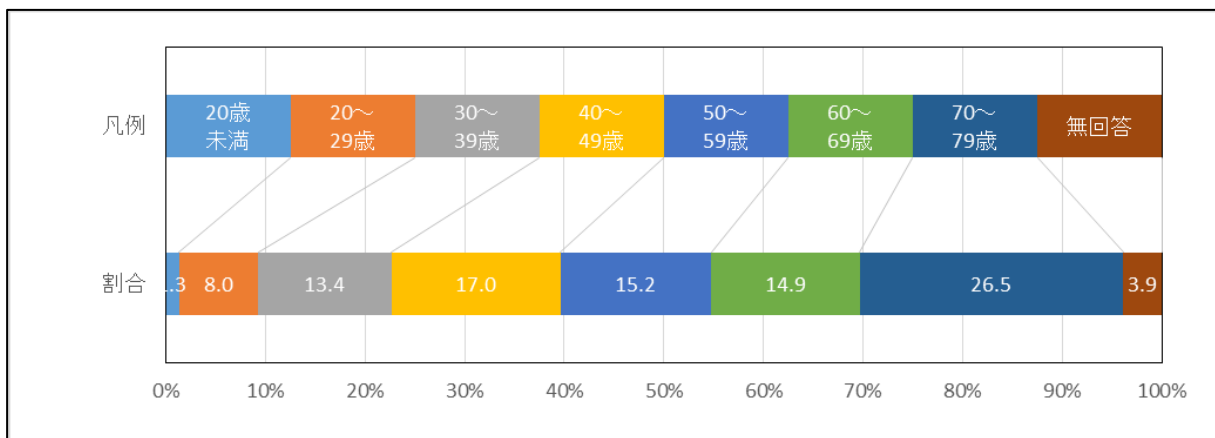


図 2-27 アンケート回答者の年齢別割合

c) 職業

アンケートの回答者の職業別割合を表 2-26 及び図 2-28 に示す。

職業別の回答者の割合は、会社員が 29.8%で最も多く、次いで無職が 17.7%が多かった。また、農業従事者が 0.5%で最も少なかった。

表 2-26 アンケート回答者の職業別割合

項目 & 単位	農業	自営業	会社員	公務員	パート・アルバイト	学生	専業主婦	無職	その他	無回答	総回答数	有効回答数
回答数(件)	2	14	116	15	59	18	65	69	13	224	389	165
回答率(%)	0.5	3.6	29.8	3.9	15.2	4.6	16.7	17.7	3.3	57.6	100	

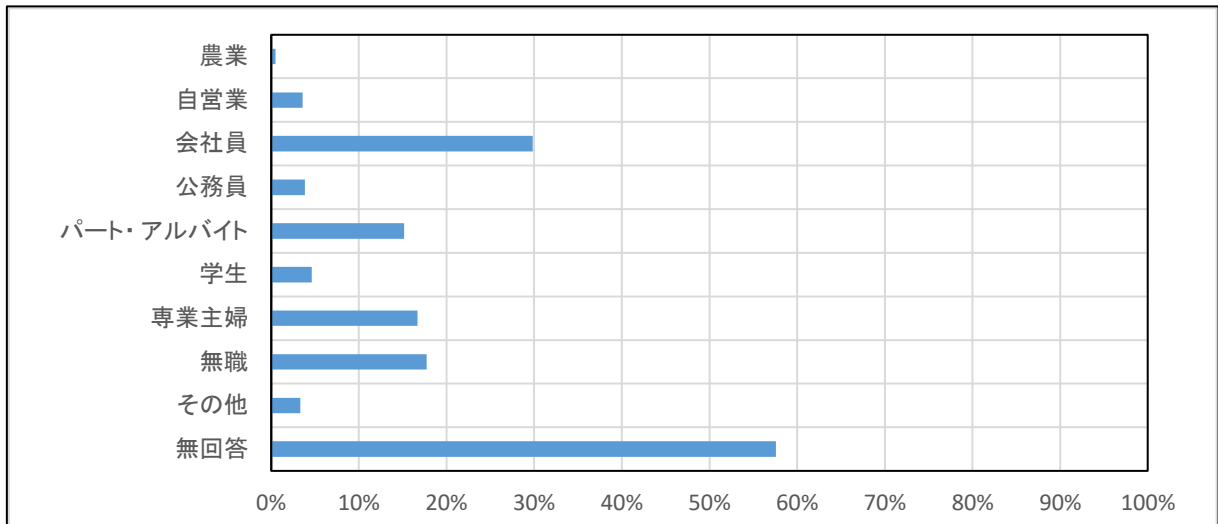


図 2-28 アンケート回答者の職業別割合

d) 東郷町在所年数

アンケート回答者の東郷町在所年数別割合を、表 2-27 及び図 2-29 に示す。

回答者の東郷町在所年数は、30年以上が42.4%で最も多く、次いで20～29年が20.1%が多かった。また、3年～5年が4.1%で最も少なかった。

表 2-27 アンケート回答者の在所年数別割合

項目&単位	3年未満	3年～5年	6年～9年	10年～19年	20年～29年	30年以上	無回答	総回答数	有効回答数
回答数(件)	21	16	27	62	78	165	20	389	369
割合	5.4	4.1	6.9	15.9	20.1	42.4	5.1	100	

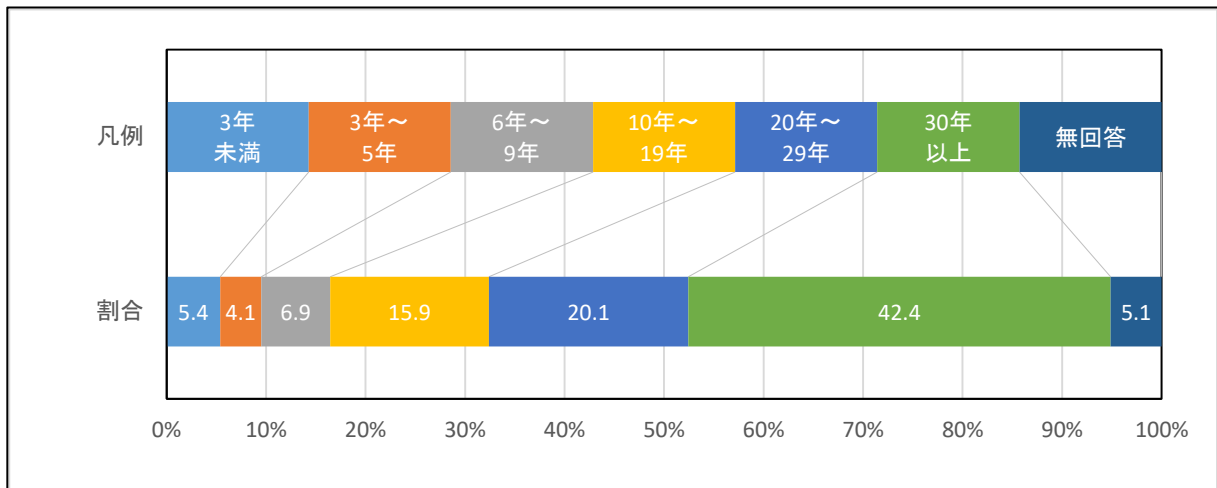


図 2-29 アンケート回答者の在所年数別割合

e) 所在地

アンケート回答者の所在地別割合を表 2-28 及び図 2-30 に示す。

所在地別回答率では、白土が 11.6%で最も多く、次いで白鳥が 10.5%が多かった。また、諸輪住宅が 0%で最も少なかった。

表 2-28 アンケート回答者の所在地別割合

項目&単位	諸輪	和合	傍示本	裕福寺	部田	白土	和合ヶ丘	諸輪住宅	白鳥	御岳	春木台
回答数(件)	26	27	18	16	10	45	26	0	41	21	34
回答率(%)	6.7	6.9	4.6	4.1	2.6	11.6	6.7	0.0	10.5	5.4	8.7
項目&単位	北山台	押草団地北	押草団地南	西白土	清水	兵庫	三ツ池	無回答	総回答数	有効回答数	
回答数(件)	33	8	3	3	20	19	21	18	389	371	
回答率(%)	8.5	2.1	0.8	0.8	5.1	4.9	5.4	4.6	0.0	0.0	

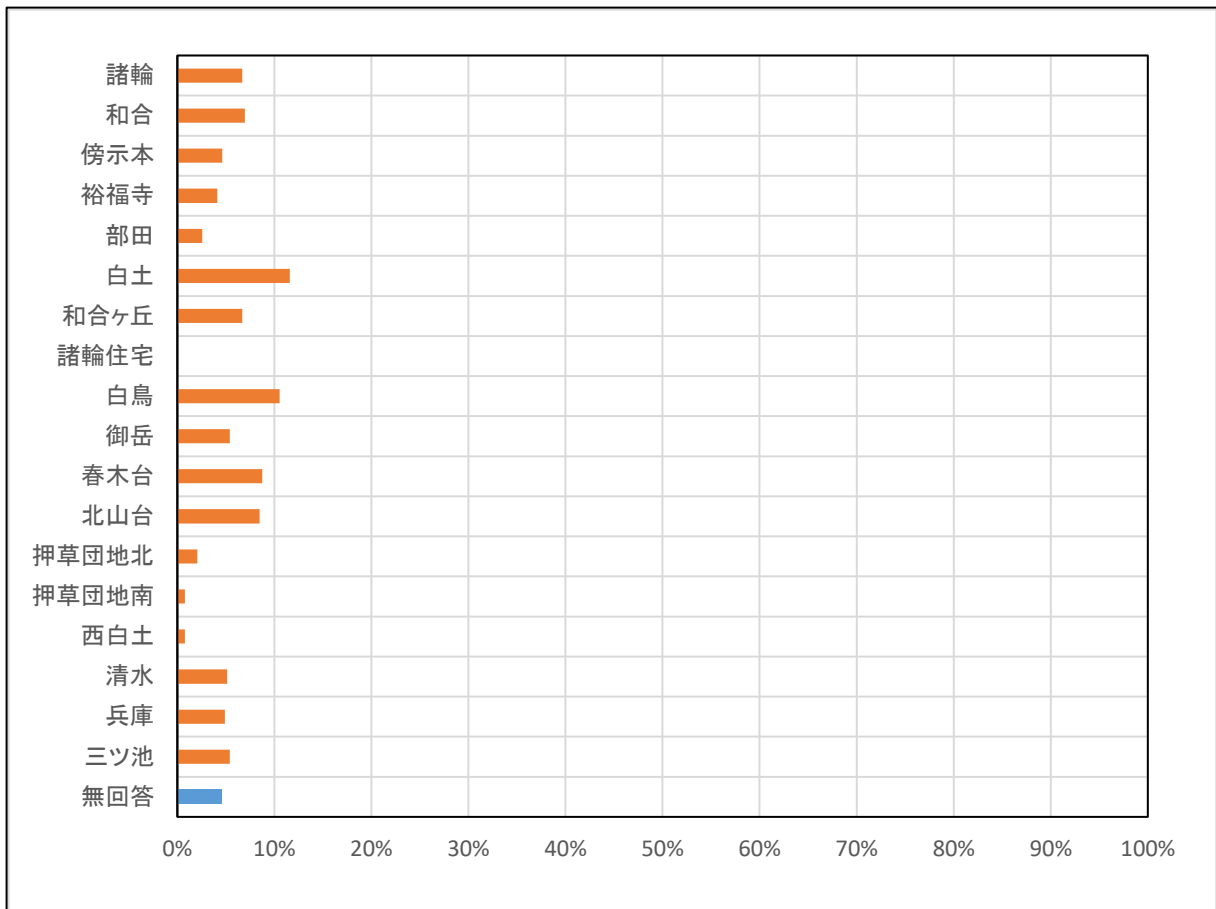


図 2-30 アンケート回答者の所在地別割合

3) 第2次計画策定時アンケートとの比較

(1) 居住地区の環境に関する満足度について

居住地区の環境に関する満足度は表 2-29 に示す評価点を回答数に乘じ、合計値を回答数で除して算出した。

居住地区の環境に関する満足度の比較を表 2-30 に示す。

第2次計画策定時アンケートから満足度が増加した項目は7項目、減少した項目は11項目であった。

表 2-29 満足度算定用評価点

選択肢	満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
点数	5点	2点	0点	-2点	-5点

表 2-30 居住地区の環境に関する満足度の比較

番号	内 容	満足度 (前回→今回)	比較
1	森林としての緑 ^{※1}	0.9 → 0.8	
2	公園や街路樹などの緑	0.5 → 0.7	○
3	動物や植物の多さ	0.3 → 0.3	
4	水辺の景観	0.2 → -0.2	
5	川や池のきれいさ	-0.5 → -0.5	
6	空気のさわやかさ	1.1 → 1.1	
7	静けさ	1.1 → 1.4	○
8	日当たりのよさ	1.9 → 2.5	○
9	憩いの場としての水辺	-0.1 → -0.2	
10	街並みのゆとりや美しさ	-0.2 → -0.1	○
11	公園などの憩いの場	-0.1 → 0.0	○
12	自然を生かした河川整備	-0.3 → -0.4	
13	リサイクルを含むごみ処理対策	1.0 → 0.6	
14	環境・公害対策	0.2 → 0.2	
15	し尿処理等の衛生対策	0.7 → 1.0	○
16	省エネルギー対策	-0.2 → 0.0	○
17	子供への環境教育	0.2 → 0.1	
18	環境に関する情報の提供	-0.2 → -0.4	

※1: 「森林としての緑」の満足度は、第2次計画策定時のアンケート項目「樹林としての緑」と比較した。

※2: 「比較」の「○」は第2次計画策定時アンケートから改善が見られたものを表す。

(2) 環境の変化について

環境の変化については、「良くなったと評価する(良くなった+どちらかといえば良くなった)」と「良くなったと評価しない(どちらかといえば悪くなった+悪くなった)」で集計し、集計数を母数として比率を算出した。

環境の変化についての比較を表 2-31 に示す。

「空気や水などの生活環境」については、第 2 次計画策定時アンケートよりも「良くなったと評価する」が多くなっている。

一方で「森や川などの自然環境」、「公園やまち中のみどりなどの都市環境」については、第 2 次計画策定時アンケートよりも「良くなったと評価しない」が多くなっている。

表 2-31 環境の変化についての比較

(単位：%)

番号	項目	(前回 → 今回)			
		良くなったと評価する (良くなった+どちらかとい えば良くなった)		良くなったと評価しない (どちらかといえば悪く なった+悪くなった)	
1	森や川などの自然環境	37.6	→ 26.9	71.5	→ 73.1
2	空気や水などの生活環境	18.3	→ 37.4	81.7	→ 62.6
3	公園やまち中のみどりなどの都市環境 ^{※1}	65.0	→ 29.6	35.0	→ 70.4

※1：「公園やまち中のみどりなどの都市環境」は、第 2 次計画策定時アンケート項目「ゆとりや憩いの場などの都市・快適環境」と比較した。

(3) 地球環境や地域環境の保全のために行うべき行動について

地球環境や地域環境の保全のために行うべき行動についての回答率の比較を示す。

第2次計画策定時アンケートから最も回答率が増加した項目は、「町として条例や規制を制定し、環境保全対策に着手すべき」で8.2%増加した。

第2次計画策定時アンケートから最も回答率が減少した項目は、「子供たちへの環境教育活動を行うべき」で8.2%減少した。

表 2-32 地球環境や地域環境の保全のために行うべき行動についての回答率の比較

(単位：%)

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
項目	町と住民が協力して環境保全を行うべき	子供たちへの環境教育を行うべき	町の事業として、環境保全行動を行うべき	住民一人ひとりの生活の影響が大きいので、生活様式の変更が必要である	町として条例や規制を制定し、環境保全対策に着手すべき	企業活動の影響が大きいので、産業構造を見直す必要がある	環境問題が深刻化しているとは考えづらく特に行動すべきことはない	わからない	その他
前回	48.6	39.6	33.1	14.9	22.6	9.1	2.9	9.1	2.1
今回	50.6	31.4	27.2	18.5	30.8	14.9	3.1	4.6	4.1
差(今回-前回)	2.0	-8.2	-5.9	3.6	8.2	5.8	0.2	-4.5	2.0

(4) 環境にやさしい行動について

環境にやさしい行動の実行率は、表 2-33 に示す評価点を回答数に乘じ、合計数を回答数で除して算出した。

第2次計画策定時アンケートより 22 項目中 20 項目で実行率が増加し、特に「コンポスト容器などによる生ごみの堆肥化、減量化を行っている」は 53.7%増加している。

実行率が減少した項目は、「不必要な電気を消したり、緑のカーテンを設置したり、冷暖房の温度を控えめにするなど、エネルギーの節約に心がけている」のみであった。

第2次計画策定時アンケートの選択肢には無かった「食品ロスを意識して、作りすぎない、食べ残さないようにしている」の項目を除いた実行率の平均値においても 22.7%増加している。

表 2-33 実行率算定用評価点

選択肢	いつも実行している	時々実行している
評価点	1点	0.5点

表 2-34 環境にやさしい行動の実行率の比較

番号	項目	前回	今回	差 (今回-前回)
1	unnecessary電気を消したり、緑のカーテンを設置したり、冷暖房の温度を控えめにするなど、エネルギーの節約に心がけている	79.2	76.3	-3.0
2	省エネルギー型の家庭電化製品や自動車を選択して購入している	45.5	74.1	28.6
3	外出の際には、なるべく自家用車を使わず、バスなどの公共交通機関、徒歩、自転車などを利用している	32.5	64.9	32.4
4	エコドライブを意識している	45.3	77.1	31.8
5	食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている	79.2	89.8	10.6
6	洗剤の量や成分に気を配っている	60.8	78.2	17.4
7	食品ロスを意識して、作りすぎない、食べ残さないようにしている	前回 なし	86.3	-
8	買い物の時にはエコバックを持参している	88	96.9	8.9
9	使い捨て製品はなるべく買わないようにしている	49.4	68.3	18.9
10	再生紙などのリサイクル商品を購入している	54.4	67.0	12.6
11	日常の生活で節水に気をつけている	70.5	76.8	6.3
12	雨水、風呂の残り水の積極的な再利用を行っている	53.7	78.2	24.5
13	物は大切にし、修理して長く使うようにしたり、必要な物だけを買うようにしている	58.1	78.0	19.9
14	町や各種団体等の資源回収に協力している	73.8	86.9	13.1
15	コンポスト容器などによる生ごみの堆肥化、減量化を行っている	21	74.7	53.7
16	リサイクルマーケットや、リサイクルショップを利用している	31.3	61.9	30.6
17	観光・余暇活動の際には、ごみを持ち帰る、動植物を採取しないなど、なるべく自然を傷つけないようにしている	77.4	90.4	13.0
18	家の庭やベランダの緑を増やすようにしている	60.2	80.7	20.5
19	テレビやピアノなどの音を外に出さないようにしている	64.1	81.9	17.8
20	自治会の清掃活動に参加している	55.1	83.3	28.2
21	講演会、講習会などの環境学習に参加している	8.8	58.3	49.5
22	環境問題や対策について家族で話し合っている	23.3	65.3	42.0